



米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジあり>  
(愛称:グレート・アメリカ)  
追加型投信/海外/株式

「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2021」  
最優秀ファンド賞を受賞しました



REFINITIV LIPPER  
FUND AWARDS

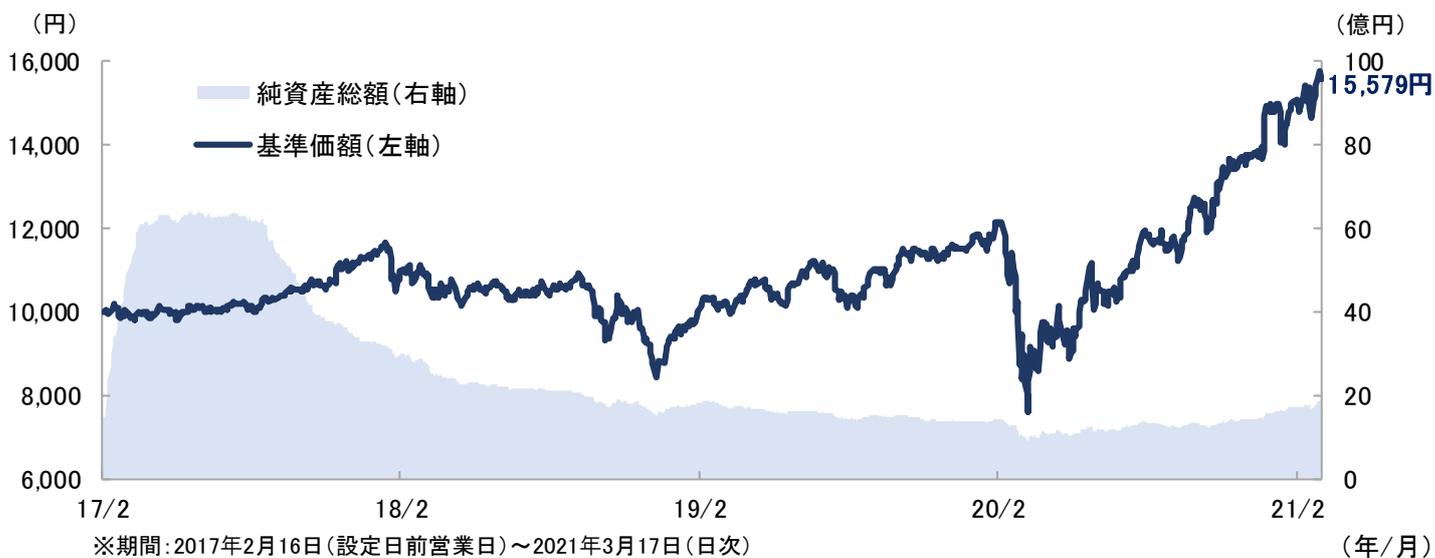
2021 WINNER  
JAPAN

投資信託部門/株式型 テーマ株 インフラストラクチャー 評価期間3年

※評価期間3年(2017年12月末~2020年12月末)

※当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。詳しくはP5の「外部評価会社の評価について」をご参照ください。

運用実績



※期間: 2017年2月16日(設定日前営業日)~2021年3月17日(日次)

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後の価額です。換金時の費用・税金などは考慮していません。

※2021年3月17日時点で分配金実績はありません。

騰落率

1カ月	3カ月	6カ月	1年	2年	3年	設定来
4.0%	13.9%	31.7%	85.6%	53.6%	43.2%	55.8%

※基準日: 2021年3月17日

※各期間は、基準日から過去に遡っています。また設定来の騰落率については、設定当初の投資元本をもとに計算しています。

※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※5ページの「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne

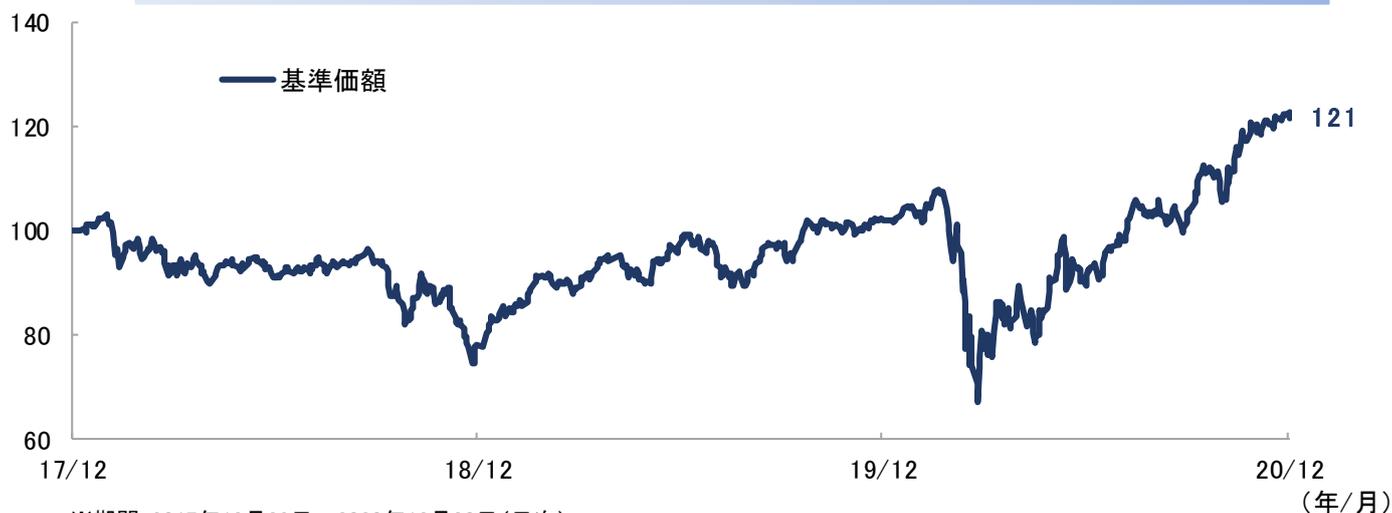
商号等 / アセットマネジメントOne株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
加入協会 / 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

## ファンドマネジャーから皆さまへ

当ファンドは、設定来、必要性が高まる米国のインフラ投資拡大の恩恵を受けると見込まれる銘柄に投資をまいりました。米国インフラ投資を巡る状況を振り返ると、4年に1度米国土木学会(ASCE)から発表される米国のインフラスコアは、2021年総合評価でC-(注意が必要)と、前回(2017年)のD+(危険な状況)から改善をみせるなど、過去4年のインフラ投資の進捗が確認できました。こうしたなかで、当ファンドではインフラ投資拡大の恩恵をしっかりと受けると見込まれる銘柄に厳選して投資を行ったことから、投資元本を超える運用成果をあげることができたと考えています。しかしながら、インフラスコアが改善したにもかかわらず、今後10年間で約5.9兆米ドルのインフラ投資が不足すると見込まれるなど、依然としてインフラ投資拡大の必要性が指摘される一方で、投資不足とされる額は一段と拡大しています。こうしたことから、過去着実な拡大を続けてきた米国インフラ投資ですが、依然として大きな拡大余地が残されており、息の長い投資テーマだと考えています。

引き続き、長期的な視野に立って、米国インフラ投資拡大を着実に取り込めると判断した銘柄に厳選して投資を行い、投資家の皆さまにその成果をお返しできるよう取り組んでまいりますので、今後ともご愛顧いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 評価期間(3年)のパフォーマンス



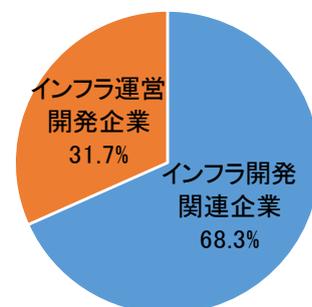
## マザーファンドの状況(2021年2月末時点)

### 【組入上位10銘柄】

銘柄数: 34

順位	銘柄名	業種	運営/開発	比率
1	テトラ・テック	資本財・サービス	開発	5.8%
2	クアンタ・サービシーズ	資本財・サービス	開発	5.5%
3	ネクステラ・エナジー	公益事業	運営	5.1%
4	ユナイテッド・レンタルズ	資本財・サービス	開発	4.9%
5	アドバンスド・ドレナージ・システム	資本財・サービス	開発	4.7%
6	アメリカン・ウォーター・ワークス	公益事業	運営	4.6%
7	ウエイスト・マネジメント	資本財・サービス	運営	4.4%
8	ジェイコブズ・エンジニアリング・グループ	資本財・サービス	開発	4.2%
9	ウィルスコット・モバイル・ミニ・ホールディングス	資本財・サービス	開発	4.1%
10	ザイレム	資本財・サービス	開発	4.0%

### 【インフラ運営関連企業とインフラ開発関連企業の組入比率】



※ 比率は組入株式評価額に対する割合です。

※ 業種はGICS(世界産業分類基準)によるものです。

※ インフラ運営関連企業とインフラ開発関連企業の区分はアセットマネジメントOneの分類に基づいています。

※上記は過去の情報・運用実績または作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、上記の見解は作成時点のものであり、市場環境等により予告なく変更される場合があります。当該個別銘柄の提示は、取引の推奨を目的としたものではなく、当ファンドへの組入れまたは保有の継続を示唆・保証するものではありません。

米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジあり>のほかに、米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジなし>もございます。

**ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

○ 主として、米国の生活インフラ関連企業の株式<sup>(\*)</sup>に実質的に投資を行います。

・ ファンドにおける、生活インフラ関連企業とは、以下の関連企業を指します。

「インフラ運営関連企業」 人々の生活に必要な不可欠な設備やサービスの運営・提供に携わる企業

企業例: 通信、水道、石油、ガス、電力等、インフラ施設の管理・運営を行う企業など

「インフラ開発関連企業」 インフラの整備・構築等に携わる企業

企業例: 建設、素材(鉄鋼、セメントなど)、運輸、銀行等、インフラの構築に携わる企業など

・ 米国の株式への投資は、米国インフラ関連株式マザーファンド受益証券を通じて行います。

(\*) 米国の株式のほかに、米国の金融商品取引所に上場する不動産投資信託(リート)にも実質的に投資する場合があります。

○ 投資環境に応じて、「インフラ運営関連企業」と「インフラ開発関連企業」の実質投資割合を機動的に変更します。

・ 銘柄選定にあたっては、アセットマネジメントOne U.S.A.・インクの投資助言を活用します。

○ 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」から、お客さまのニーズに合わせて選択できます。なお、「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の間でスイッチングが可能です。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

**主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

各ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 株価変動リスク…………… ファンドは実質的に株式に投資しますので、株式市場の変動により基準価額は上下します。なお、ファンドは米国の生活インフラ関連企業の株式を主要投資対象としますので、米国の株式市場全体の値動きとファンドの基準価額の値動きは大きく異なることがあります。また、投資環境に応じて「インフラ運営関連企業」と「インフラ開発関連企業」への投資配分を機動的に変更しますが、結果的に株式投資収益率が低い銘柄への投資配分が大きかった場合等では、株式市場全体が上昇する場合でもファンドの基準価額は下がる場合があります。
- 為替リスク…………… <為替ヘッジあり>ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行い為替リスクの低減をめざしますが、為替リスクを完全に排除できるものではなく為替相場の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジには、円金利がヘッジ対象通貨よりも低い場合、その金利差相当分程度のコストがかかることにご留意ください。  
<為替ヘッジなし>ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。
- 流動性リスク…………… ファンドにおいて有価証券等を実質的に売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。
- リートの …………… リートの価格は、リートが投資対象とする不動産等の価値、当該不動産等による賃貸収入の増減、不動産市況の変動、景気や株式市況等の動向などによって変動します。ファンドは、実質的にリートに投資する場合がありますので、これらの影響を受け、基準価額が上下する可能性があります。
- 信用リスク…………… ファンドが実質的に投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、ファンドが実質的に投資するリートが、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、投資した資産の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。

各ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日分のお申込みとします。
購入・換金 申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2027年2月16日まで(2017年2月17日設定)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。  ・信託契約を解約することが受益者のために有利であると認める場合 ・各ファンドにおいて受益権口数が10億口を下回ることとなった場合 ・やむを得ない事情が発生した場合
決算日	毎年2月および8月の各16日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金自動けいぞく投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称: NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称: ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。
スイッチング	<為替ヘッジあり><為替ヘッジなし>の2つのファンド間でスイッチングができます。 スイッチングとは、すでに保有しているファンドを換金すると同時に他のファンドの購入の申込みを行うことをいい、ファンドの換金代金が購入代金に充当されます。 スイッチングの際には、税金および各販売会社が定める購入時手数料がかかる場合があります。 ※販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。

**ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

以下の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

※上場不動産投資信託(リート)は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託(リート)の費用は表示しておりません。

**●投資者が直接的に負担する費用**

購入時手数料	購入価額に、 <b>3.3%(税抜3.0%)</b> を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

**●投資者が信託財産で間接的に負担する費用**

運用管理費用 (信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して <b>年率1.705%(税抜1.550%)</b>
その他の費用・ 手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

**投資信託ご購入の注意**

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

**当資料のお取扱いについてのご注意**

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 各ファンドは、実質的に株式およびリート(不動産投資信託)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

**◆収益分配金に関する留意事項◆**

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することとなります。

**◆委託会社およびファンドの関係法人◆**

- <委託会社>アセットマネジメントOne株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会
- <受託会社>株式会社りそな銀行
- <販売会社>販売会社一覧をご覧ください
- <投資顧問会社>アセットマネジメントOne U.S.A.・インク

**◆委託会社の照会先◆**

- アセットマネジメントOne株式会社  
コールセンター 0120-104-694  
(受付時間:営業日の午前9時~午後5時)
- ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>

**【外部評価会社の評価について】**

リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、[lipperfundawards.com](http://lipperfundawards.com)をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

「リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2021」の選考対象は、2020年末時点で日本国内で販売登録されているファンドのうち、36ヵ月以上の運用実績があるファンド並びに2021年4月1日以降に償還を迎えるファンドです。

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

○印は協会への加入を意味します。

2021年3月18日時点

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社りそな銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○		
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第593号	○		○		
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第3号	○		○		
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○		○		
株式会社南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	○				
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第7号	○		○		
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第3号	○				
株式会社愛知銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第12号	○				
株式会社西京銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第7号	○				
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第6号	○				
第一生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第657号	○	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○		
永和証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第5号	○				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第191号	○				
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○		○	
木村証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第6号	○				
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号	○				
大山日ノ丸証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第5号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	○			○	
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	○				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○		
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第20号	○				
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第20号	○				
三津井証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号	○				
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○			
豊証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第21号	○				
株式会社みちのく銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第11号	○				※1
株式会社三重銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第11号	○				※1
株式会社滋賀銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第11号	○		○		※1
株式会社第三銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第16号	○				※1
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○				※1
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号	○				※1
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号	○				※1
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○	※1

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

●販売会社によっては、一部コースのみのお取扱いとなります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。

<備考欄について>

※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

以下は取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。  
○印は協会への加入を意味します。

2021年3月18日時点

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
朝日信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第143号	○				
豊田信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第55号	○				
長浜信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第69号					
京都北都信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第54号					
兵庫信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第81号	○				
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

●販売会社によっては、一部コースのみのお取扱いとなります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。

<備考欄について>

※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)